

2015年度 第5回 浦添総合病院 治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時 開催場所	2015年8月26日(水) 13:00～13:25 浦添総合病院 2階会議室
出席委員名	比嘉 保 (I-5 審議不参加)、宮城 洋一、比嘉 武宏、田中 桂子、寺田 生子、 宮城 吉晴、上地 正人、内間 庸文 (I-3 審議不参加)、福本 泰三、新里 誠一郎 喜瀬 道子 (I-1 審議不参加)
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>I 治験の継続に係る審査、検討及び報告事項</p> <p>1. 大日本住友製薬株式会社の依頼による糖尿病性末梢神経障害患者を対象とした AS-3201 の第Ⅲ相試験</p> <p><b>【審議】</b></p> <p>1) 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p><b>【報告】</b></p> <p>2) 当 IRB 設置医療機関における治験終了が報告された。</p> <p>2. 第一三共株式会社の依頼による虚血性脳血管障害患者を対象とした CS-747S (プラスグレール塩酸塩) の既存治療対照第Ⅲ相二重盲検比較試験</p> <p><b>【審議】</b></p> <p>1) 当 IRB 設置医療機関で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>2) 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>3. エーザイ株式会社の依頼による第 I/II 相試験</p> <p><b>【審議】</b></p> <p>1) 当該治験薬で発生した副作用の定期報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>2) 初回審査より 1 年となるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>4. サノフィ株式会社の依頼による急性冠症候群を発症した高コレステロール血症の患者を対象とした Alirocumab の第Ⅲ相試験</p> <p><b>【審議】</b></p> <p>1) 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p>

	<p><b>【報告】</b> 2) 治験分担医師の変更について報告した。</p> <p>5. アストラゼネカ株式会社の依頼によるチカグレロルの第Ⅲ相試験</p> <p><b>【審議】</b> 1) 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 2) 治験薬概要書の変更について、変更事項の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>【報告】</b> 3) 治験分担医師の変更について報告した。</p> <p>Ⅱ セントラル IRB 報告</p> <p>1. アッヴィ合同会社の依頼による 2 型糖尿病性腎症患者の腎アウトカムに対する <b>atrasentan</b> の作用を検証する多施設国際共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験</p> <p><b>【報告】</b> 1) 2015 年 7 月 22 日審議事項の承認を報告した。</p> <p>2. Amgen 社の臨床的に明らかな心血管系疾患を有する患者を対象とした <b>AMG145</b> をスタチン療法と併用した時の更なる <b>LDL</b> コレステロール低下が主要な心血管系事象に与える影響を評価する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検試験</p> <p><b>【報告】</b> 1) 2015 年 7 月 22 日審議事項の承認を報告した。</p> <p>3. Amgen 社の臨床的に明らかな心血管系疾患を有する患者を対象とした <b>evolocumab</b> をスタチン療法と併用した時の認知機能に対する影響を評価する二重盲検プラセボ対照多施設共同試験： <b>FOURIER</b> 試験（治験 20110118）の被験者を対象とした試験</p> <p><b>【報告】</b> 1) 2015 年 7 月 22 日審議事項の承認を報告した。</p>
特記事項	